



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月13日

上場会社名 黒田精工株式会社

上場取引所 東

コード番号 7726 URL <http://www.kuroda-precision.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 黒田 浩史

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 荻窪 康裕

TEL 044-555-3800

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	11,680	21.3	330	—	337	—	192	—
29年3月期第3四半期	9,632	△1.6	19	—	△13	—	△30	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 732百万円 (630.6%) 29年3月期第3四半期 100百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	34.33	—
29年3月期第3四半期	△5.47	—

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株を1株とする株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	19,275	8,722	44.3	1,522.68
29年3月期	17,164	7,978	45.8	1,400.70

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 8,545百万円 29年3月期 7,861百万円

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株を1株とする株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	2.00	2.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	12.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株を1株とする株式併合を行っております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載しております。平成29年3月期につきましては、当該株式併合前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,900	19.9	410	261.0	410	142.2	240	142.2	42.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株を1株とする株式併合を行っております。1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	5,620,000 株	29年3月期	5,620,000 株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	7,833 株	29年3月期	7,518 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	5,612,346 株	29年3月期3Q	5,612,573 株

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株を1株とする株式併合を行っております。前連結会計年度期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済み株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、(添付資料)2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成29年6月29日開催の定時株主総会において、単元株式の変更、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日に単元株式数を1,000株から100株に変更し、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。これに伴い、株式併合前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下の通りとなります。

- 1.平成30年3月期の配当予想
 - 1株当たり配当金
 - 期末 2.50円
- 2.平成30年3月期の通期業績予想
 - 1株当たりの当期純利益
 - 通期 8.54円

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、海外における不安定な政治動向や地政学的リスクの高まり等の影響が懸念されたものの、雇用環境が改善し、個人消費や設備投資が堅調に推移いたしました。

こうした状況下、当社グループの受注高は、半導体、液晶、ロボット、自動車、家電、工作機械等幅広い分野で高水準の状況が続いており、13,958百万円（前年同期比3,791百万円、37.3%増）となり大幅な増加となりました。売上高は11,680百万円（前年同期比2,048百万円、21.3%増）と受注高の増加には及ばなかったものの増収結果となりました。

利益面に関しては、単体ならびに米国及び中国を中心とした海外子会社の売上が増加したことにより、人件費等の諸経費の増加があったものの、営業利益は330百万円（前年同期比311百万円増）、経常利益は337百万円（前年同期は経常損失13百万円）となりました。また、特別利益として平成29年10月26日に開示した投資先企業に関する投資有価証券売却益152百万円を計上した一方、生産ライン再編成に関する移転費用として事業構造改善費用39百万円、一部廃止商品に係るたな卸資産の処分費用として事業再編損52百万円及び建物整備費用として環境対策費28百万円等を特別損失として計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益192百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失30百万円）という結果となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

なお、下記セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

○駆動システム

当セグメントでは、主要市場である半導体・液晶関連分野を中心に高水準な受注が継続し、受注高は7,563百万円（前年同期比3,176百万円、72.4%増）と大幅に増加しました。生産体制増強に努めた結果、受注高の増加には及ばないものの、売上高は5,546百万円（前年同期比1,224百万円、28.3%増）となり、営業利益は535百万円（前年同期比376百万円、236.1%増）と大幅な増収増益となりました。

○金型システム

当セグメントでは、車載モーター向けに加え、産業用モーター向け等の受注が比較的順調に推移し、受注高は2,944百万円（前年同期比22百万円、0.8%増）、売上高は2,992百万円（前年同期比503百万円、20.2%増）となりました。一方、利益面では、固定費の増加に加え、マレーシア子会社の新規取引に関連するコストが先行したこと等の影響により、営業損失161百万円（前年同期は営業損失40百万円）と損失拡大となりました。

○機工・計測システム

当セグメントでは、主力の工作機械の受注が好調に推移し受注高は3,562百万円（前年同期比607百万円、20.6%増）、売上高は3,251百万円（前年同期比332百万円、11.4%増）となったものの固定費の増加及び英国連結子会社の減益等の影響もあり、営業損失15百万円（前年同期は営業利益15百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は19,275百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,111百万円増加いたしました。これは、現金及び預金、受取手形及び売掛金、たな卸資産等の増加を主因として流動資産が1,576百万円増加したことに加え、投資有価証券等の固定資産が534百万円増加したことによるものです。

負債合計額は10,552百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,367百万円増加いたしました。これは、固定負債が94百万円減少したものの、仕入債務、短期借入金等の増加を主因として流動負債が1,461百万円増加したことによるものです。

また、当第3四半期連結会計期間末の純資産は8,722百万円となり、前連結会計年度末と比較して743百万円増加いたしました。これは、利益剰余金の増加により株主資本合計が143百万円増加し、その他有価証券評価差額金等の増加によりその他包括利益累計合計額が541百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期業績予想につきましては、前回公表（平成29年11月13日）の業績予想値を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,967,961	2,138,420
受取手形及び売掛金	2,843,128	3,544,770
電子記録債権	-	62,489
商品及び製品	826,838	742,377
仕掛品	1,375,238	1,754,240
原材料及び貯蔵品	645,590	826,119
その他	379,919	547,732
貸倒引当金	△3,028	△3,824
流動資産合計	8,035,648	9,612,326
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,288,387	2,348,823
土地	1,846,297	1,869,755
その他(純額)	1,234,132	1,484,523
有形固定資産合計	5,368,817	5,703,102
無形固定資産		
のれん	989,011	1,052,021
その他	296,804	262,562
無形固定資産合計	1,285,816	1,314,583
投資その他の資産		
投資有価証券	1,871,954	2,321,197
その他	603,304	325,542
貸倒引当金	△1,311	△1,382
投資その他の資産合計	2,473,946	2,645,357
固定資産合計	9,128,580	9,663,044
資産合計	17,164,228	19,275,370

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,121,055	1,380,835
電子記録債務	1,475,003	1,960,790
短期借入金	1,219,063	1,733,066
未払法人税等	124,309	80,517
賞与引当金	200,779	108,712
受注損失引当金	-	521
その他	755,521	1,092,893
流動負債合計	4,895,732	6,357,337
固定負債		
長期借入金	1,627,981	1,723,297
役員退職慰労引当金	156,265	141,903
環境対策引当金	93,872	93,552
退職給付に係る負債	1,466,388	1,498,977
その他	945,032	737,402
固定負債合計	4,289,540	4,195,134
負債合計	9,185,273	10,552,471
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,875,000	1,875,000
資本剰余金	1,451,395	1,451,395
利益剰余金	2,749,034	2,892,673
自己株式	△8,224	△8,813
株主資本合計	6,067,205	6,210,255
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	698,629	1,080,883
土地再評価差額金	821,468	814,401
為替換算調整勘定	199,910	376,603
退職給付に係る調整累計額	74,234	63,430
その他の包括利益累計額合計	1,794,242	2,335,320
非支配株主持分	117,506	177,322
純資産合計	7,978,955	8,722,898
負債純資産合計	17,164,228	19,275,370

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	9,632,306	11,680,916
売上原価	7,309,827	8,698,201
売上総利益	2,322,479	2,982,715
販売費及び一般管理費	2,303,433	2,652,678
営業利益	19,045	330,037
営業外収益		
持分法による投資利益	4,012	23,227
設備賃貸料	49,275	31,908
ロイヤリティ	35,173	39,035
助成金収入	34,735	—
その他	64,107	78,466
営業外収益合計	187,304	172,637
営業外費用		
支払利息	49,920	44,792
為替差損	58,291	25,693
その他	111,565	95,066
営業外費用合計	219,777	165,552
経常利益又は経常損失(△)	△13,427	337,121
特別利益		
固定資産売却益	834	7,252
投資有価証券売却益	—	152,490
負ののれん発生益	—	48,735
特別利益合計	834	208,479
特別損失		
固定資産除却損	192	4,273
事業構造改善費用	—	39,687
事業再編損	—	52,824
環境対策費	—	28,000
段階取得に係る差損	—	53,764
特別損失合計	192	178,549
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△12,786	367,051
法人税、住民税及び事業税	17,050	159,722
法人税等調整額	3,672	23,662
法人税等合計	20,723	183,384
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△33,509	183,666
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,806	△9,034
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△30,703	192,701

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△33,509	183,666
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	235,811	382,254
為替換算調整勘定	△101,898	177,208
退職給付に係る調整額	△160	△10,803
その他の包括利益合計	133,752	548,659
四半期包括利益	100,242	732,326
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	109,854	740,845
非支配株主に係る四半期包括利益	△9,611	△8,519

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	駆動 システム	金型 システム	機工・計測 システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,276,147	2,470,210	2,885,949	9,632,306	—	9,632,306
セグメント間の内部売上高 又は振替高	46,247	18,962	33,223	98,433	△98,433	—
計	4,322,395	2,489,172	2,919,172	9,730,740	△98,433	9,632,306
セグメント利益又は損失(△)	159,404	△40,230	15,531	134,705	△115,659	19,045

(注) 1 セグメント損失の調整額△115,659千円は、セグメント間取引消去△91,301千円と報告セグメントに帰属しない一般管理費△24,357千円であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	駆動 システム	金型 システム	機工・計測 システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,479,941	2,977,877	3,223,097	11,680,916	—	11,680,916
セグメント間の内部売上高 又は振替高	66,963	15,111	28,700	110,775	△110,775	—
計	5,546,905	2,992,988	3,251,797	11,791,691	△110,775	11,680,916
セグメント利益又は損失(△)	535,777	△161,682	△15,630	358,463	△28,426	330,037

(注) 1 セグメント損失の調整額△28,426千円は、セグメント間取引消去△5,129千円と報告セグメントに帰属しない一般管理費△23,297千円であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。